

2 聞いて！わたしの出会い ～スピーチ～

スピーチはJ S L生徒ばかりでなく、J N Lの生徒達にとっても苦手な学習活動である。特に、4月当初の新しい学級でのスピーチの授業は妙な緊張感に包まれることもまれではない。この時期は、学級活動や授業で自己紹介、スピーチをする機会が多い。話すことに苦手意識を感じている子どもたちにとっては、何を取りあげたらいいのか、どのように組み立てたらいいのかなどの課題が残されてしまうことが多い。

本単元では、これまで出会った人の中から、印象に残っている人を選んでクラスみんなに紹介する活動を行う。自分が選んだ他者を紹介することで、スピーチの材料を選びやすくし、何を話したらいいのかという課題に対する抵抗感が少なくなるだろう。スピーチに慣れていないJ S Lの生徒達は、事前に原稿を用意するなどして安心して望めるようにしたい。

また、本単元は独話を中心とした展開例1と対話（インタビュー活動）を取り入れて、スピーチを構成するという展開例2を取りあげている。それぞれの展開例を参考に、学級や生徒の状況に合った展開を工夫してほしい。

- 1 領域 話すこと・聞くこと
- 2 教材 「わたしの出会い」（「伝え合う言葉2」教育出版14版）
- 3 目標
 - ・自分が出会った人の中から、紹介する人を選ぶ。
 - ・説得力のある表現に注意して話す。
 - ・相手の伝えたいことを確かに聞き取る。
- 4 指導時間 2時間
- 5 指導形態 在籍クラス（T・Tでの指導体制が望ましい）
- 6 指導事項・言語スキル

領域	指導事項	言語スキル
話すこと ・ 聞くこと	【話題】 ・ふさわしい話題を選び出す。 【語句や文】 ・説得力のある表現の仕方に注意して話したり、聞き取ったりする。	・適切な話題を選び出すことができる。 ・話の組み立てを考えることができる。 ・スピーチのためのメモを作り、話すことができる。

言語 事項	<p>【話や文章、文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話や文章の中の段落の役割や文と文の接続関係などを考える。 <p>【言語生活】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し言葉と書き言葉の違いについて理解し、適切に使う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・敬体と常体を使い分けることができる。 ・話し言葉と書き言葉を区別して使うことができる。
----------	---	---

7 指導計画

◆展開例 1（独話を中心とした展開）

	学 習 活 動	伸ばしたい言語スキル	学習支援・指導・学習材
1 次	○指導者のスピーチを聞く。	・スピーチの内容を聞き取ることができる。	・メモをとりながら、スピーチで取りあげている内容を整理させる。 ★生徒の状況に応じて、J S L 生徒用のワークシートを用意する。
2 時 間	○学習の内容を知る。 ○紹介する人を選ぶ。 ○どんな点を紹介するのか、ワークシートに記入する。	<ul style="list-style-type: none"> ・スピーチの目的にそって、紹介する人を一人選ぶことができる。 ・紹介する内容を選び出すことができる。 ・選び出した内容を簡条書きでメモすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族や友達、小学校時代の先生やあこがれの上級生など身近にいる人でもいい。 ★自分のことをクラスの他の友達により理解してもらえるように、自分の故郷の歴史上の人物や、スポーツ選手や有名人などでも選んでいいようにアドバイスする。 ・紹介する内容は その人の特徴 その人との出会い その人への思い の3点にしぼるようにする。 ★生徒の状況に応じて、指導者がその人物のことを聞き出すような質問をし、紹介する内容を導き出すように支援する。 ★状況に応じて聞き出した内容を指導者がメモをとってもいい。ここでは、内容を選び出すことを中心におくので、書くことに重点はおかない。また母語でのメモでも可とする。

	<p>○どのような表現で紹介するのかワークシートに記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・話の組み立てを考えることができる。 ・スピーチのためのメモ（原稿）を作ることができる。 ・話し言葉と書き言葉の違いを理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・箇条書きのメモを見ながらスピーチの原稿を書く。 ・1分間のスピーチ（300字程度）で原稿を書くことができる。 ・話し言葉を使って原稿を書くようにアドバイスする。 <p>★原稿を何度か音読させ、内容をできるだけ自分のものにする。何度か練習をしたら、指導者が原稿を預かり必要に応じて、陰の声で助けるようにする。</p>
	<p>○スピーチをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な声の大きさで話すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・なるべく原稿を読まないようにさせたい。 ・声の大きさ、速さ、強弱などを事前にアドバイスする。 <p>★故郷の人を選んだ場合には、写真などを事前に準備させて、スピーチの際に見せるなどしてもよい。</p>

※可能ならば、第1時は取り出しで指導を行い、第2時のスピーチの発表の時には、在籍クラスで行いたい。

◆展開例2（対話を取り入れたもの）

時	学 習 活 動	伸ばしたい言語スキル	学習支援・指導・学習材
1次	<p>○指導者のスピーチを聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スピーチの内容を聞き取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・T/Tの指導体制の場合は、お互いに紹介しあう内容のスピーチを準備しておく。
2時間	<p>○インタビューをする話材を選ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2人1組になり、話材の中から3つ程度選ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手にあった話材を選ぶことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話材をあらかじめ10程度用意しておき（ワークシート内）、その中から選ぶようにさせる。

	学 習 活 動	伸ばしたい言語スキル	学習支援・指導・学習材
	<p>○インタビューを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1人（A）が相手（B）にインタビューをする。Aは聞いた内容をまとめる。 ・ 相手を代えてインタビューをする。 <p>○インタビューした内容をもとに、相手を紹介するスピーチの原稿を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 選んだ話材について、質問の内容を考えることができる。 ・ 相手に分かるように質問することができる。 ・ 相手の答を聞き取ることができる。 ・ 頷いたりするなど、聞きながら反応を示すことができる。 ・ 相手の答に対して、更に質問することができる。 ・ 話の組み立てを考えることができる。 ・ スピーチのためのメモ（原稿）を作ることができる。 ・ 話し言葉と書き言葉の違いを理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ★インタビューをするときは、一問一答にならないように、言おうとしたことの意味を相手に確かめるように、意味が分からないことを繰り返してもらったり、理由を聞き返したり、発展した質問を繰り返せるように支援する。 ・ インタビューは1～2分程度で行う。 ・ JNLの生徒には聞き取り能力の向上を目的として、インタビューの内容のメモは取らせないようにしたい。 ★JSLの生徒達は、インタビューの内容のメモを簡単に取らせるようにワークシートの準備をする。また、必要に応じて、インタビューに指導者がつき、答えた内容を簡単にメモをとって渡したり、難しい言い回しの時は、相手の生徒に書かせるなどの配慮をする。 ・ 簡条書きのメモを見ながら、スピーチの原稿を書く。 ・ 1分間のスピーチ（300字程度）で原稿を書くことができる。 ・ 話し言葉を使って原稿を書くようにアドバイスする。 ・ 原稿を何度か音読させ、内容をできるだけ自分のものにする。何度か練習をしたら、指導者が原稿を預かり必要に応じて、陰の声で助けるようにする。

	○スピーチをする。	・適切な声の大きさと話 すことができる。	・なるべく原稿を読まないようにさ せたい。 ・声の大きさ、速さ、強弱などを事 前にアドバイスする。
--	-----------	-------------------------	--

展開例2はインタビューの活動を入れて、話材を探すようになっている。

学級の状況によっては、最初からインタビュー活動を取り入れた展開にすることもあ
るし、また、展開例1をベースにおくが、J S Lの生徒などで、紹介したい相手がなかなか
見つからない場合などは、展開例2にあるインタビューを取り入れて、紹介する相手とそ
の内容を整理することも考えられる。

はな
話す
き
聞く

わたしの出会い・・・スピーチ

くみ 組 ばん 番 しめい 氏名

これまで多くの人と出会ってきたと思います。今年もまた、新しい出会いがありましたね。今回はこれまで出会った人の中から、印象に残っている人を選んで、クラスみんなに紹介してみましよう。

自分のことを紹介するのは「自己紹介」といいますね。新学期になって何回か経験をしたと思います。これは、人を紹介するのですから、「他者紹介」です。紹介しようとする人の特徴をよく思い出して、具体的に、しかも効果的に紹介しましょう。

「他者」をどのようにとらえ、どのように紹介するかで、あなたの人柄や個性が表れます。その意味で、違った形の自己紹介にもなりますね。

また、今回は新しい学年になっての初めてのスピーチ（話すこと）の授業です。この学習を通して、他の人に伝えるための話し方の基礎をしっかりと身に付けましよう。

授業の内容
先生の説明
のことばです

学習の目標

- ① 自分が出会った人の中から、紹介する人を選ぶ。
- ② 説得力のある表現に注意して話すことができるようになる。
- ③ 相手の伝えたいことを確かに聞き取れるようになる。

学習を通して身に付けて欲しい言葉の力

具体的な言葉の力	学習前	学習後
紹介する人や内容を選び出すことができますか。		
話す順番の組み立てを考えることができますか。		
話したい内容のメモを作ることができますか。		
メモを役立てながら話すことができますか。		
声の大きさを工夫しながら話すことができますか。		

- ☆自分の言葉の力にあわせて ◎ (よくできる)
 ○ (できる)
 △ (まだ十分ではない) の三段階でチェックしよう

せんせい ないよう
先生のスピーチの内容をメモしよう

しょうかい じんぶつ なまえ 紹介している人物の名前	
じんぶつ とくちょう 人物の特徴(ひとことで)	その人は ひと な人です。
ひと であ その人との出会い	いつ・・・
	どこで・・・
	どのように・・・
であ したが 出会った～その後～	

しょうかい ひと なら しょうかい ないよう
紹介する人を選び、紹介する内容をメモしよう

しょうかい じんぶつ なまえ 紹介する人物の名前	
えら りゆう 選んだ理由	
じんぶつ とくちょう 人物の特徴(ひとことで)	その人は ひと な人です。
とくちょう 特徴は1つでなく いくつか探そう	
ひと であ その人との出会い	いつ・・・
	どこで・・・
	どのように・・・
であ したが 出会った～その後～	
ひと おも その人への思いは	

